

KSKP



とくていひえいりかつどうほうじん

特定非営利活動法人 リアライズ

にゅーす

リアルライフNEWS

ぼりゅーむ しんねんがっぺいごう

vol.19 & 新年 合併号

きゅうねんちゅう たいへん せ わ

旧 年中は大変お世話になりました。

ことし

今年もリアライズをよろしくお願ひします。



毎年恒例の…
しん ねん

あい さつ

新年のご挨拶! 2013

新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いします。

この 1 月で法人を設立して 5 年を迎えました。今までたくさんの人達の応援のおかげで、ここまで来ることができました。本当にありがとうございます。

設立から今日まで、泉州地域の障害当事者や団体との繋がりも広がり、それと同時に活動も広がって来ました。そんなリアライズも 5 年というひと区切りを迎え、今までの総括を行いつつ、新たなリアライズへとパワーアップするために、「リアライズを考える会」と称して、2012 年度一年間をかけて話し合いを重ねています。

そして、その 5 年の節目を経て、6 年目となる 2013 年は、新たなリアライズとして、躍進出来ればと思っています。

リアライズ一同、これからも頑張りますので、応援のほどよろしくお願いします！

三井孝夫 (代表)



みなさま、あけましておめでとうございます！

今年もよろしくお願いします！

2011 年 7 月の事故より、不死鳥のごとく復活をしたつमोरの三井です(笑) この 1 年は無事に怪我も大きな病気もなく乗り切ることができました。

昨年は新たな趣味に自覚め…、「北斗の拳のラオウのフィギュア」を買っちゃいました！なぜか急に北斗の拳の漫画を読みたくなり、何年かぶりに漫画を購入！そして…生まれて初めて、全巻を大人買いし、翌日にはラオウのフィギュアを…(笑) なぜラオウかって…?? それには理由があります！

ラオウの名台詞に「我が生涯に一片の悔いなし!!!」との言葉があります。

何を隠そう、ラオウのフィギュアを買ったのは、この言葉のように「悔いのない人生を送る！」＝「毎日を楽しもう!!」という、可愛らしく言葉が変化していますが、そういうことなんです(笑) ということで、今年は楽しく毎日を過ごしたいなあと思っています！

にしゆずる かんりしや
西野 譲（管理者）

しんねん
新年あけましておめでとうございます！

まいとししんねん もくひよう
毎年新年の目標にダイエットを掲げておりますがます

ふくらんでおりますにしゆ”と一ます”譲です。今年こそは！と言いたところですがこれ以上うそつきになりたくないのやめておきます。今年もリアライズは忙しくなりそうなので体調崩さないようにバリバリがんばって参りたいと思いますのでみなさま応援よろしくお願い致します！

にしとめかずひろ きかく
西留一浩（企画）

みなさま しんねん
皆様、新年あけましておめでとうございます！

さくねんどまつ せいけん こうたい しみんとう こうめいとう れんりつせいけん
昨年度末に政権が交代し、自民党、公明党の連立政権が復活いたしました。これから様々な経済政策を打ち立ててくると予想されます。しかし、この経済政策、景気回復のスローガンの陰で、障害者をはじめとする、「生きにくさ」を感じている人が犠牲にならないように、どんどんわたしたちの声をあげていかなければいけません！どんな人でもその人らしい当たり前の生活が送れるような社会を作っていけるように今年も頑張しましょう！

なが せつばさ とうかつ
長瀬 翼（統括コーディネーター）

いつもおうえん
いつも応援していただきありがとうございます。

こじんてき きくねん がつ こども きず こそだ てへい
個人的には昨年2月に子どもを授かりました。子育てと平
行してリアライズで活動をしていくというのは、なかなか
バランスをとるのが難しく、現在進行形で試行錯誤し
ている日々です。このことがきっかけで、リアライズで
活動している各々のライフステージが変わっていつ

も、息の長い活動ができる場を作っていく必要性を感じ始めています。いつもたくさんの課題を抱えて、あれやこれやと悩みは尽きませんが、今ある資源だけではどうにもならないのは間違いありません。自分の殻を打ち破って様々な人と出会い繋がっていくために、行動していきたいと思います。今年も応援よろしくお願いいたします。

やまもと ひろし せいかつ かいご
山本啓司 (生活介護)



新年明けましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお願い致します。

さて、リアライズでの活動歴も早5年目に突入しました。

2013年度は日中活動の場がスタートすることもあり、大きな変化が生まれる年になる予感がします。新たなフィールドでの挑戦が待っていると思うと、大きな不安と緊張感を感じずにははいられません。しかし、僕の唯一の取り柄である「楽しさ」は忘れずに突き進んでいきたいと思います。

かわぐちかずひろ
川口和洋 (コーディネーター)



あけましておめでとうございます！思い起こせば2012年は激動の一年でした。昨年の夏は空き巣に入られ、たくさんのものを盗まれました…。特に僕の大切なコレクションである、青春の思い出を奪い去っていったことには深く心が傷つきました。思い出だけでなく、僕の自信さえも奪い去っていったので、今年は奪われた自信を取り戻していきたくと思います^^
こんな僕ですが、今年もリアライズ共々よろしくお願い致します♪



もりた みほ
森田美穂 (コーディネーター)



明けましておめでとうございます！

昨年9月からコーディネーター業務に携わり、戸惑い、空らない点多々ありましたが皆さんに温かくフォローして頂きながら、日々邁進しておりました。2013年も昨年同様、多くのことを吸収し、前進していきます。今年は、

「健康第一」をモットーに蛇のような生命力で、ひと回りもふた回りも成長していきたいと思えます。本年もよろしくお願い致します。

辻田奈々子(事務局スタッフ研修生)

新年あけました?おめでとうございます!

ななちゃんこと、辻田奈々子です。

去年はリアライズの皆さんを始め、たくさんの方々に成長させて頂いた一年でした!今年はリアライズでの活動を本格始動し、皆さんと一緒に泉州地域を盛り上げていければと思います!それでもって、今年は“出会い”の一年にしたいと思います♪

元々極度な人見知りの私ですが…;;たくさんの人との出会いを活動の原動力にできればと思っています!

吉井ひかり(常勤ヘルパー)

～明けましておめでとうございます～

去年もあっという間に一年が過ぎていきました…。今年はもう少し自分自身にゆとりを持って仕事もプライベートも楽しんでいきたいと思います♪そろそろ婚活でもしたいなと(笑)今年もたくさんご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。では、皆様にとって素敵な一年となりますように☆(*^*)v

星野貴大(常勤ヘルパー)

新年明けましておめでとうございます。去年は新年早々にインフルエンザと溶連菌にかかってしまい、10日間家に引きこもっていました。(笑)今年は体調を崩さないように日頃から体調管理を心掛けて行こうと思います。さて、今年の抱負は最近メタボになってきたので体を鍛え直すためにスタッフのTさんと走りこむ予定です!!(決意表明をしとかなないとお互いにやらなくなるので…。)今年もよろしくお願いします。

かわばたのぶまさ じょうきん
川端延昌 (常勤ヘルパー)

あけましておめでとうございます！2012年は「成長の年」を目標として過ごし、少しは成長できたかなあと自問自答をしています。そして今年、2013年は「吸収の年」を目標として多くの人たちに出会い色々な事を学ぶ年にしたいと思っています。また、毎年の事ではありますが、今年も共に成長していける年に出来るよう努力していこうと思います。2013年も宜しくお願いします。

しばたいつべい じょうきん
柴田一平 (常勤ヘルパー)

皆様、あけましておめでとうございます。

常勤ヘルパーの柴田一平です。昨年は厄年でしたが、大きな病気やケガをすることなく無事一年を乗り切ることができました。介助者としては全く成長できていないなあと思う今日この頃ですが(体ばかりじゃなくて頭も鍛えろ!!とよく言われます笑)、それと同時にやっぱり介助って楽しいなあと思う時間が増えました。脳みそもムキムキになれるように頑張りたいと思います!!本年もよろしくお願いします!!

ひえだかずのり じょうきん
稗田一敬 (常勤ヘルパー)

新年あけましておめでとうございます！昨年は風邪を引くこともなく何とか乗り切ることが出来ました。今年も体調管理はしっかりして、元気に過ごせたらなあと思います。リアルライズに常勤ヘルパーとして戻ってきてから、はや7カ月経ちますが考える事も増えて刺激的な毎日を送らせてもらっています。今年はもっと色々な方の所で介助を行い、経験を積んでいきたいです!!今年も宜しくお願ひ致します。

ことし ねが
今年もよろしくお願ひします!

パイオニアからご挨拶



新年あけましておめでとうございます。
パイオニアができて約2年半になりますが、応援して下さいっている皆さんがいるからこそだと感じています。感謝しています。2013年もパイオニアでは、色々と起きると思いますが、楽しみながら前進して活動を取り組んでいければと思います。
今年度からパイオニア代表として努めさせてもらっています。未熟ですが、今後も一步一步パイオニアとともに成長していきたいです。今年もよろしくお願いします！ **by 泉本麻木子**



新年明けましておめでとうございます
今年は色々な場所にいき、色々な人に出会えるようにしていきたいと思っています。また、昨年結局実現できなかったスカイダイビングに代わりに何か面白い事に挑戦していこうと思いますので、その時にはご協力よろしくお願いします。 **by 川本将勝**



皆さんあけましておめでとうございます!!(^-^)
この12月に一人暮らしを始めて早1ヶ月…この充実感・達成感を胸に今年は挑戦の年にしていきたいと思っています！
長年住み慣れた泉大津で自立する立場として、この泉大津をさらにどんどん盛り上げていきたいと思っています！ **by 岡田憲幸**



新年あけましておめでとうございます。昨年は私にとって色々な出来事が起こり、また後半は体調を崩したりと、激動の一年でした。もう50才に突入している事を考え、今年は何事も無理をせずにマイペースで過ごしていきたいと思っています。今年もどうぞよろしくお願い致します。
追伸：昨年私の障害名が「進行性筋ジストロフィー症」だとお伝えしましたが、「シャルコー・マリー・トゥース病」である事が昨夏判明しましたのでお知らせします。 **by 藤林行夫**

おかのり、ついに^{じりつはじ}自立始める!?

こんにちは！おかのりこと岡田憲幸です！

リアライズに関わり始めてはや5年・・・泉大津の当事者の一人として「もう自立できるんじゃないか、できるんじゃないか」と応援してもらい続け、早くも27歳になってしまった私が(笑)、この度ついに、晴れて、自立への第一歩を踏み出すこととなりました！！

一人暮らししよう、しようと思い

ながら、なかなか踏み出せなかった
中で、ひょんなことから出会った一

こんにちは！岡田で

じりつ



つの物件、家族と話し合いの中で見えてきたもの、そして、自立を

前にした今の心境など・・・そんなこれまでのいきさつを、日記形式で振り返りつつお送りしたいと思います(*^_^*)

(※なお、日付は一部、僕のシックスセンス(=僕のざっくりとした推測)によるものですが、ご了承ください。)

9/13(木)(ぐらい)

みつい とつじょ ぶっけんじょうほうとうちゃく 三井さんより突如、物件情報到着!!

自立しようにもなかなかいい物件もないし不安もいろいろあるしな〜と、くすぶっていた僕に、その電話はあまりにも唐突にきました。リアライズの三井さんから、「泉大津市内で、手すりも完備されたバリアフリーな、すごい良い部屋があるんやけど、住んでみいひんか？」

・・・まあ、確かに、自立したいとはずっと思っていたけど、しかしあまりにも急やなあ・・・でも、それでも僕の気持ちの中には一つだけ思うことがありました。・・・手すりも完備されたバリアフリーな部屋・・・、今まで泉大津市内のいろいろな物件の話を聞いてきましたが、そこまで整った物件は一件もなく、これはもしかしたら、二度とないぐら

いの奇跡的なチャンスかもしれない、そう思ったのです。「・・・まあ、とりあえず、何はともあれ、まずは実物を見てから判断しよう」とりあえず、担当の不動産屋さんに見学の予約だけ取り付けました。



↑ご紹介の物件(全景)です☆

9/18(火)(ぐらい)**家族との初対話**

まあ、まだ決まっていはいないけど、もしかしたら住むかもしれない。だから、早いうちに家族にも言っておこう、そう考えた僕は、あからさまに「住みたい」や「住もうと思う」とまではまだ言わず、「三井さんが何かすごいバリアフリーの良い物件があるって紹介してくれたわ」とだけ言って、切り出しました。

しかし、その話を進めていくとすぐ、家のこと（家事）は一体どうするのか、一人暮らしすると余計な心配が新たに増えるだけじゃないのか、と一番痛いところが話題に上がり、どうすればいいか本当に悩みました。確かにこれまで僕は、洗濯や掃除や食器の片づけなど、家の中で不可欠なことを、全部当たり前のように家族に任せっきりにした上で、さも自分一人できているかのように思っていました。「・・・ああ、言われてみれば確かにそうだなあ・・・。やっぱり今の自分には無理な話だったかもなあ・・・」そんな思いがすぐよぎってきて、「いや、自分は絶対にひとり暮らしがしたいんだ」というような言葉は到底言えずに終わりました。

9/26(水)**物件見学での衝撃**

「まあとりあえず、判断するにもまず実物を」、というわけで、とりあえず住むか住まないかは別にして、予定していた見学に行きました。

実物を見てまず初めに思ったことは、「こんな物件が泉大津にあったんだ!」ということでした。

アパートの入り口も玄関も段差が全くなく、どの部屋にも電動車いすのまま行き来ができ、電動車いすのコンセントも部屋内にあり、お風呂とトイレにも初めから手すりがついていて・・・。「ここに住まなかったらどこに住むねんっていう感じだ」と、不動産屋さんの人が言っておられましたが、なるほどその通り、ここ以上に整った物件は絶対に泉大津市内にはないかと、身をもって実感しました。

9/28(金)(ぐらい)**理想と現実とのギャップとの格闘**

物件を見終えてからも、「住みたい」という気持ちはずぶ強くなってはいたものの、家族には、相変わらず「住みたい」とストレートに言えるほどの勇気も自信もなく、「この間の物件を見てきたんやけど、やっぱりすごいバリアフリーで、良さそうやったわ」とだけ言いました。

そうすると、僕の心境を察してか、父も兄も、「どうしても住みたければ住めばいい。でもまずは、今の自分の部屋をしっかりと片づけられるようになって、家ですべきことにもしっかりと慣れて、段階を踏んでからだ」と僕にはっきりと告げました。・・・確かに、自分の足元にふと目をやれば、部屋は散らかったままだし、洗濯物の回し方ひとつ知らないし・・・ここでもまた、ただ単に気持ちだけで「とにかく住みたい」と何も考えずに突っ走ろうとしていたことの甘さを知らされ、本当に胸が詰まる思いがしました。でも、二人ともそれと同時に、「引越しをする時には手伝ってやる」とも言ってくれ、「厳しいことも言うけれど、僕のことを思ってくれているんだ」と温かい気持ちにもなりました。

☆物件室内風景集☆

それから、少しずつ慣れない手つきながら部屋の掃除をし、洗濯の仕方を覚え・・・「この向こうには念願の自立生活があるんだ」・・・そんな確固たる思いを胸に、前向きに少しずつ一つ一つ課題をクリアしていこうという思いになっていきました。

こうして僕は、まだまだ未熟なところやしっかりと準備をしないといけないところもあるけれど、その中で少しずつ準備を進めていながら「自立生活をはじめよう」と決意をしました！！



玄関から見た風景です☆

(ここに、家から持ってきた冷蔵庫を置こうと思っています☆あと、冬場は寒いのでついでにこたつも置いてあったまりたいと思っています (笑))



トイレとお風呂に通じる通路です。



手すり付きのトイレ。

ひとり暮らしを始めた岡田くんの決意の
気持ちをガッツポーズで表現してみました！！

10/10^{すい}(水)物件^{ぶつけん}の契約^{けいやく}を、不動産屋^{ふどうさんや}さんに正式^{せいしき}に告知^{こくち}!!11/3^ど(土)(散々^{さんざん}悩みな^{なや}がら)カーペット^{かーぺっと} & 机^{つくえ}購入^{こうにゅう}!!(暖^{だん}色^{しよく}系^{けい}と寒^{かん}色^{しよく}系^{けい}の組^くみ合^あわせの仕^{しか}方^かが特^{とく}にな^なやまし^{わらい}い(笑))11/13^か(火)物件^{ぶつけん}の正式^{せいしき}契^{けい}約^{やく}完^{かん}了^{りょう}!!リビングの様子^{ようす} (テレビ、カーペット、机^{つくえ}など)12/1^ど(土)財布^{さいふ}と相談^{そうだん}しながら、決^{けつ}死^しの覚^{かく}悟^ごで(笑^{わらい})32型^{がた}テレビ(AQUOS)を購^{こう}入^{にゅう}!!12/8^ど(土)つい^{つい}に、アパ^{かぞ}ートの鍵^{かぎ}を譲^{ゆず}り受^うけました☆(この日^ひにテレビ、ガス、こたつ、ベッド、カーペット、机^{つくえ}など、とい^いあえ^えずの必^{ひつ}要^{よう}な物^{ぶつ}が届^{とど}きました♪

リアルイズ関^{かん}係^{けい}者^{しゃ}を新^{しん}居^{きょ}に招^{まね}いて夜^よな夜^よな
パ^ぱーティ^ーーを開^{ひら}きました☆

自^じ立^{りつ}しよう、し^しょうと思^{おも}い続^{つづ}けてはや5年^{ねん}・・今^{いま}よう^いやく一^{いっ}歩^ぽが踏^ふみ出^だせて本^{ほん}当^{とう}にう^うれし^しく思^{おも}っていま
す。それ^{それ}に^にし^しても、実^{じつ}家^かに^にい^いるとな^なかな^なか^か分^わか^から^らない^いもの^{もの}で^です^すが、洗^{せん}濯^{たく}に掃^{そう}除^{じょ}に食^{しょく}事^じの支^し度^どに、そ^そして自^じ立^{りつ}
する決^{けつ}意^いに^にと、自^じ立^{りつ}生^{せい}活^{かつ}に^には本^{ほん}当^{とう}に多^{おほ}くの要^{よう}素^そが^がふ^ふくま^まれて^ていま^いす^すね・・で^でも、そ^いんな色^{いろ}な^な壁^{かべ}に、後^{のち}々^{のち}親^{おや}
や家^か族^{ぞく}の支^し援^{えん}が得^えられ^らな^なく^くな^なっ^てからぶ^ぶつ^つか^かる^るよ^より、ま^まだ親^{おや}や家^か族^{ぞく}が^があ^ある^る程^{てい}度^ど元^{げん}気^きな^な今^{いま}、存^{ぞん}分^{ぶん}に^にぶ^ぶつ^つか^か
てお^おく^く方^{かた}が^がい^いい^いの^のだ^だら^らう^うと^と思^{おも}い^いま^ました。(笑)しか^{しか}し本^{ほん}当^{とう}に、開^{わらい}け^けて^てび^びっ^くり玉^{たま}手^て箱^{ばこ}、巢^たた^たし^して^てこ^これ^れか^から^らど
んな生^{せい}活^{かつ}が^が待^{まち}っ^てい^いる^るの^のや^やら(笑)ま^まあ、ま^まず^ずは^はと^とりあ^あえ^えず皆^{みな}さん^{さん}に^にこ^こ報^{ほう}告^{こく}で^でき^きる^るよ^よう^うな、楽^{たの}しい生^{せい}活^{かつ}を^を目^め指^さ
し^したい^いと^と思^{おも}い^いま^ます(笑)

ヘルパーとともに過ごす白^び々^びのあ^あれ^れこ^これ...

12月^{がつ}から一^{ひとり}人^り暮^ぐら^らしが始^{はじ}ま^まっ^て、ヘルパーと一^{いっ}緒^{しょ}に^にい^いろ^ろい^いろ^ろな^なこ^こを^をす^する^る日^ひ々^びが^が続^{つづ}い^いて^ていま^いす
☆お風^{ふう}呂^ろの^のよ^より安^{あん}全^{ぜん}な^な入^いり^り方^{かた}を^をヘルパーと一^{いっ}緒^{しょ}に^に悩^{なや}ん^んだ^だり、料^{りょう}理^りの^の具^ぐ材^{ざい}の^の切^きり^り方^{かた}を^をど^どう^うい^いう^う風^{ふう}に
伝^{つた}え^える^るの^のが^がい^いい^いか^か考^{かん}え^えたり^りと、本^{ほん}当^{とう}に^に毎^{まい}日^{にち}が^が新^{あた}しい^い発^{はっ}見^{けん}の^の連^{れん}続^{ぞく}で^です! 特^{とく}に^に僕^{ぼく}は^は居^き宅^{たく}介^{かい}護^ごな^なの^の
で、ヘルパーが^が来^きて^てく^くれ^れる^る日^ひは^は時^じ間^{かん}に^に遅^おれ^れず^ずに^にき^きち^ちん^んと^と家^{いえ}に^に帰^{かえ}ら^らない^いとい^いけ^けない^い!と^とい^いう^うち^ちよ^よっ^つと
した^{しば}縛^わり^りは^はあ^あり^りま^ます^すが(笑)、こ^これ^れか^から^らも^も自^じ分^{ぶん}だ^だけ^けの^のい^いろ^ろい^いろ^ろな^なラ^らイ^いフ^ふス^すタ^たイル^るを、ヘルパー陣^{じん}
達^{たち}と一^{いっ}緒^{しょ}に^に実^{じつ}現^{げん}し^して^てい^いき^きたい^いと^と思^{おも}い^いま^ます☆(^ ^)

文^{ぶん}責^{せき}: 岡^{おか}田^だ

とくてい ひ え い り かつ どう ほう じん

特定非営利活動法人リアルイズ

ねん ど だい かい じん けん

2012年度 第1回 人権セミナー

日時 : 2012年7月28日(土) 13:30~16:30

場所 : いずみおおつしりつ きんろうせいしやうねん
泉大津市立勤労青少年ホーム

テーマ : 『精神障害者の自立生活ってなあに?』

コーディネーター : うめや たかし 氏(ひまわりハウス施設長)

講師 : もり みゑ 氏(高槻地域生活支援センター)

しげの つとむ 氏(社会福祉法人ポポロの会 里の風施設長)

今回、『精神障害者の自立生活ってなあに?』という
テーマでコーディネーター1名、講師2名を招いて人権
セミナーを開催しました。前半は講師の方々の話を
聞かせていただき、後半は会場内の人たちと講師陣
で質疑応答を行いました。

最初にうめやさんからひまわりハウスの概要についてお話がありました。ひまわりハウスは精神障害者の方々が日中過ごす居場所として、泉大津市・忠岡町で唯一の事業所です。社会資源が不十分な中、それぞれに生きづらさを抱えている精神障害者の自立には何が必要か、どこに問題があるのか、この人権セミナーを通して一緒に考えていきたいという話で始まりました。

— 当事者としての立場から もりさんのお話 —

もりさんからは、当事者としての立場からどういう支援が必要か、周囲の人たちの心構えについてのお話がありました。パラフレーズ(相手の言葉で噛み砕いて「こうですね?」と確認する)、リフレーミン

グ(もう、水が半分しかないではなく肯定的な捉えなおし、まだ水が半分も残っているという考え方)、ミラーリング(相手に悩みがあると深刻に言われれば鏡のように、深刻な感じで答えてみる)といった様々な手法を知った上で精神障害者の話を聞いていけば、会話もスムーズに行われるのではないかとのことでした。



— 支援者としての立場から しげのさんのお話 —

しげのさんからは精神障害者の自立生活について、支援者としての立場から感じることを話していただきました。精神障害者は病気の再発を繰り返すこと

もあり、人生のやり直しを何度もしている。疲れてしまふのは当たり前なのかもしれない。それによって自殺してしまう人さえいるという現状は話されていました。そして、地域で重要な役割を担う社会資源の一つである自立支援協議会について、ピアサポート、セルフケアマネジメント、人材の確保が重大な課題とのことでした。いつまでも国がやることを待っているのではなく、リアライズ・ひまわりハウスのような社会資源が広がっていき、社会連帯が促進されていくような活動をしていきたいという話でした。

後半は会場からいくつかの質問が挙がりましたー

Q：今日は支援者側からの話が多かったが、当事者として精神障害者はどんな支援があればよいと思うか？

A：森「私自身、離婚して母子家庭になって、働かない訳にはいなくなりましたが、就労支援がとても少なかった。病名を隠して一般の会社に入ったこともあったが、なかなか続けられず…精神障害者の場合は就労について相談できる所が必要だと思う。」

Q：精神障害についてなかなか親に理解してもらえなかったようだが、今考えてみてもっとこうしてもらえたら、と思うことは？

A：森「私の希望としては親が保健所などで開催されている疾病教育の場に通ってもらって、もっと早くに病気について知ってもらえればよかったなあと思った。疾病教育は周囲の理解が得られるという回復の重要なポイントになってくるので、今後の活動でも広めたい。」

Q：精神障害者の雇用が義務化され、差別やいじめ

が増えるのではと心配です。

A：重野「確かにそういう懸念はある。助成金がもらえるので障害者を雇用している企業は多いが、受け入れが不十分なことも多い。受け入れ体制を整えてから受け入れるべきであるし、企業側の受け入れチェック体制を作れるようにすればと思う。最も、市町村がより積極的に障害者雇用するべきなのだが…」

ー最後に梅屋さんからー

地域移行＝自立生活なのか？経済的基盤がしっかりしていない現状で自立生活していくには昼・夜安心して暮らせる場が不可欠だが、泉大津ではひまわりハウスしかない。この実情の中で自立生活するにはハードルが高い。私は重度であっても地域で暮らしていくために、医療スタッフやソーシャルワーカーを含むサポートシステムができれば、よりよい地域移行ができるのではと思う。



(文責：吉井 ひかり)

2012年度 第3回 ヘルパー研修会

今年度は4回行う予定のヘルパー研修会、第2回目は人権学習ということで人権セミナーに参加してもらいました。

人権講座については「2012年度 第1回 精神障害者の自立生活ってなあに？」をご覧ください。ここでは2012年11月18日に行われました第3回目のヘルパー研修についてお送りしたいと思います。

テーマ『緊急時対応について』

場所：リアライズ・サロンスペース

講師：リアライズ管理者 西野譲

リアライズコーディネーター 長瀬翼

日時：2012年11月18日（日）13時30分～16時30分まで

参加者：18名



左：長瀬翼 右：西野譲

研修の経緯

障害当事者にとっても介助者にとっても、遭遇したくないのは事故や緊急事態です。この研修を行う少し前にも介助中に事故がありました。当事者本人も介助者もそういったことがある度に、次からどうすればいいのかわかってくる改善点が見えてきます。今回の研修では、改善策をみんなで共有し、「こんな時あなたはどうか？」を一緒に考える時間をもちました。

いつ起こるかわからない緊急事態！

普段、介助者は当事者本人のやりたいことに一緒に取り組むことを大事にして、当事者本人の指示や当事者本人とあらかじめ決めたルールを守りながら介助を行っています。そんな中でも、事故や緊急事態はいつやってくるかわかりません。だれでも事故や緊急事態がやってきたときは動揺してどうしていいかわからなくなってしまうことはあると思います。リアライズではその対策として、事故や緊急事態があったときにはあわてずに決められた手順で連絡を取るようになっています。

研修の前半は、リアライズで定めている緊急時の連絡方法について、資料を基に改めて説明し、事故や緊急事態が起こった



ときの対応を徹底することをみんなで確認しました。その話の中で、危険を回避することと、当事者本人がやりたい生活を実現することをうまく両立できるように考えていかなければならないこともみんなで再確認しました。自己実現とそのリスク、難しい問題ですが、考え続けていかないといけないことだと感じました。

こんなときどうする？ 介助中よくある迷うところ

後半は、4人ずつのグループに分かれてグループワークを行いました。ここから、学生時代にリアライズで登録ヘルパーとして活動してくれていた相宅くんが飛び入りで参加してくれました。（相宅くんは現在生野区にあります「ヘルプセンター・じゃんぷ」で元気に活躍中です！）



グループで話し合ってもらったお題は「介助中にこんなこと（介助中にヘルパーがどうしたらいいか迷うこと）が起これば、あなたならどうする？」というもので、講師役の長瀬さんから出題

されました。参加した介助者にとっては「介助あるある」という感じのお題ばかりだったので、みんな大いに盛り上がりながらそれぞれの思っている事、感じている事を話し合いました。介助中の出来事はプライバシーに関わるところも多いので、各自注意しながら話し合いました。介助者は、普段は一人で介助現場に入っているので、自分がやっていることについて誰かと話すことがほとんどありません。自分の場合はこうやっているとかここをこうやって工夫しているとかそれぞれの考えていることを出し合って話は尽きませんでした。話し合ってもらった内容は、各グループから1名ずつ話してもらい、全体で共有しました。

最後のお題で、「実際の介助中に今まで話しあったような内容を意識してコミュニケーションをとりながらやっているか？」という質問を行ったところ、現実には難しい場面もあるという回答が多くありました。「発言することによって相手に大きな影響を与えてしまうんじゃないか」と考えて躊躇してしまう場合や、時間がなくてうまく確認できずに進んでしまった場合など状況は様々です。それでも、よりよい介助の状態、結果的に事故が起きにくい状況を作っていくためには当事者本人と介助者が確認し合いながら一緒に考えながら関係を作っていくことが重要だということを確認し、研修は終了しました。

ひさびさ けんしゅう はなし にしの こんかい きんきゅう じたいおう けんしゅう
久々に研修で話をしました西野です。今回は「緊急時対応について」をテーマに研修を行いました。
どこにでもヒューマンエラーというのは存在します。でも、しっかりとコミュニケーションと互いの
きょうつう にんしき りかい じこ かのうせい さ かのう かんが がまん
共通・認識・理解があれば、事故の可能性は下げることが可能だと考えています。やりたいことを我慢して
じこ かいひ けんしゅう けんしゅう しゅうりよう かんが
事故を回避するのではなくて、どうやったらやりたいことを事故なしでできるのかを、これからもみんなで考
えていきたいと思ひます。

☆パイオニア letter☆

皆さん、お久しぶりです。

さて、今回はパイオニアの近況報告をお伝えさせてもらいたいと思います！ 南海沿線のバリアフリーチェック活動とメインストリーム協会の見学を報告させていただきます。

すぺ～す・しゃとる & いこらー & パイオニア

南海沿線バリアフリー調査チーム結成！

夢 宙 センターすぺ～すしゃとる(住之江区)、自立生活センター・いこらー(岸和田市)、パイオニア(泉大津市)、三団体と連携し、南海沿線バリアフリー調査チームとして取り組んでいきます。よろしくお願いします！

経緯について

すぺ～すしゃとるからパイオニアに南海線バリアフリー調査活動を連携して取り組んでいこうという話がありました。

パイオニアが活動している場所の最寄駅は南海本線北助松駅なので、南海沿線を日頃から利用しています。車いすユーザーとして、南海沿線の駅は設備が整っておらず、階段のみの駅もあり利用しづらいと感じていました。このような状況を改善していくために、すぺ～すしゃとると連携してバリアフリー調査をし、その結果をもとに南海電鉄と交渉をしていき、誰もが利用しやすい駅になっていけばと思います。

南海沿線バリアフリー調査チーム！すぺ～すしゃとる・いこらー・パイオニア連携

すぺ～すしゃとると初顔合わせを兼ねて、一回目の会議が4月に行われ、その後、数回会議を重ねてきました。

調査目的としては、南海全駅の調査をした上で社会資源マップの作成、今後、南海電鉄との交渉をしていくために使用する資料の作成をするということです。

バリアフリー調査をしていくにあたり、一度デモンストレーションで、すぺ～すしゃとるメンバーの最寄駅である沢ノ町駅、住吉東駅の2駅を皆で調査しました。沢ノ町駅では高野山方面ホームに男女共用のユニバーサルトイレが設置され、

住吉東駅ではなんば方面ホームに男女共用のユニバーサルトイレが設置されています。しかし、両駅とも、片方のホームしかユニバーサルトイレが設置されていない状況でした。

その後、自立生活センター・いこらー(岸和田)も加わり、3団体集まって、南海沿線の交通機関のバリアフリー問題を取り組んでいくことになりました。当面の目標、南海本線40駅、南海高野線29駅、計69駅を、2人ずつのグループを4つ作り、1グループで22駅ずつ調査します。合わせて急行が停まる大きい駅は、駅周辺のバリアフリー調査もしていきます。

バリアフリー調査事前学習会・・・

バリアフリー調査を実施するにあたって、調査ポイントをおさえるために、障大連の交通部会で長年交通バリアフリー活動に取り組まれている鈴木千春さんを講師に招き学習会を行いました。すぺ～すしゃとる河野さん、パイオニア川本さんにより作成したバリアフリーチェックシートをもとにポイントを教えて頂きました。今後のために、とても勉強になりました。今後、南海バリアフリー調査を実施し、南海電鉄と交渉してすべての人が自由に交通機関を利用できる社会に向け頑張ります。

温かく見守って頂きたいと思います。また、報告させていただきます。(文責：まきこ)

多くの障害当事者が自ら作る日中活動の場

にしのみや @ 西宮・メインストリーム協会の見学！！！！

☆メインストリーム協会について

メインストリーム協会は、兵庫県西宮市にある自立生活センターで、多くの障害当事者がスタッフとして活動しておられます☆介助派遣・相談支援・自立生活プログラム（ILP）・自立体験室といった事業はもちろん、その他にも、各地で数日間の野宿しながら歩いてバリアフリーや障害者の自立生活を社会にアピールするTRY、アジア・南米などの障害当事者の方々を受け入れて自立に向けて支援する海外支援などにも積極的に関わっておられ、20数年？の歴史を誇る、関西内でも有数のスケールの大きなセンターです。「これから生活介護を作りたいけど、どうやって進めていったらえねん!？」と模索中の僕たちにとってはこれほど参考にさせていただけるセンターはない！ということで、今回はメインストリーム協会の皆さんに生活介護の活動内容・運営についてお話をお聞きすることにしました☆

☆メンバー達で作り出す活動の数々…

メインストリーム協会のすごいところは、なんといっても人の多さとその活動の独自性！生活介護のメンバーと自立生活センターのスタッフとを兼ねている人もふくめ、20人以上の障害当事者の方が活動中で、介助者にも専任の人、リーダー的な人、登録の人といった細かな区分けがあり、豊富なマンパワーでの活動がとても新鮮でした☆

（昼礼をマイクで行っているのもとても印象的でした♪）

活動についても、単に介助者の確保のためだけに来ているというメンバーはおらず、あくまで「自立した後の自分たちの活動の場」ととらえられている点がとても参考になりました。曜日ごとに、喫茶店を開いたり、工場見学に行ったり、制度講座をしたり、メンバー会議を開いたり・活動を自分たちで考えて作り上げるというスタンスには、とても考えさせられるものがありました・・・。

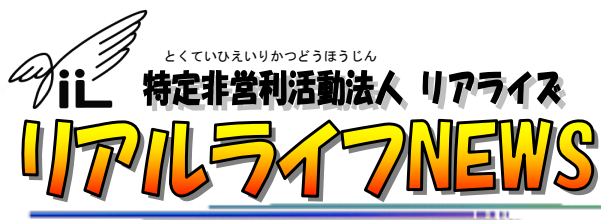
これから泉大津でも、生活介護を作っていくにあたって、うまくいかないことや予定通りいかないこともあるかもしれませんが、メインストリーム協会の皆さんの「自分たちの活動は自分たちで作っていく」というスタンスを大いに見習って、頑張っていこうと思います♪

（文責：岡田）



↑話し合い中の風景。↑

奥左から畑さん・江口さんです☆



目 次

- リアライズから新年のご挨拶 (P. 2-6)
- パイオニアからご挨拶 (P. 7)
- おかのり、ついに自立始める!? (P. 8-11)
- 第1回リアライズ人権セミナー (P. 12-13)
- 第3回ヘルパー研修会 (P. 14-15)
- パイオニアletter (P. 16-17)
- 編集後記 (P. 18)

編集後記

リアライズの期待の星、岡田憲幸さんの自立生活がついに始まりました！！
 岡ちゃんにとって自立生活が実現するまでの道のりは様々な困難がありました。しかし、持ち前の
 泉州魂で、一城の主となりました。これから、どんな生活が待っているのか、楽しみです。もちろ
 ん、リアライズも岡ちゃんのバックアップは惜しみません！岡ちゃん、おめでとう☆☆☆

by. おとめ

《発行人》

関西しょうがいしゃていきんこうぶつきょうかい
関西障害者定期刊行物協会

〒536-0015 大阪府天王寺区真田山町2-2 東興ビル

《編集人》

とくていひえいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人 リアライズ

〒595-0071 大阪府泉大津市助松町1-3-33エクセラート北助松1階 店舗4

TEL : 0725-22-7716 / FAX : 0725-22-7746

URL : <http://www.cil-realize.com/>

定価 : 100円